2021年度
事業報告書

（2021年4月1日～2022年3月31日）

目　　次

Ⅰ．法人の概要

１．建学の精神 ･･ 1
２．設置する学校及び所在地
（１）安東キャンパス ･････････････････････････････ 2
（２）白島キャンパス ･････････････････････････････ 2
３．沿　革 ･･ 3
４．組織図
（１）学校機構図 ････････････････････････････････ 5
（２）事務組織図 ････････････････････････････････ 6
５．設置する学校の入学定員、編入学定員、収容定員、在学生数 ･･････ 7
６．役員等の概要 ･･ 8
（１）役員 ･･････････････････････････････････････ 8
（２）責任免除･責任限定契約･補償契約･役員賠償責任保険契約の状況　8
（３）評議員 ････････････････････････････････････ 9
（４）教職員 ････････････････････････････････････１０

Ⅱ．事業の概要

１．当該年度の主な事業
（１）安田女子大学・安田女子短期大学 ････････････････１１
（２）安田女子高等学校・安田女子中学校 ･･････････････１７
（３）安田小学校 ････････････････････････････････２１
（４）安田幼稚園 ････････････････････････････････２５
（５）安田幼稚園安東園舎 ････････････････････････２７

Ⅲ．財務の概要

１．資金収支計算書の推移 ･････････････････････････････ ３１
２．事業活動収支計算書の推移 ･････････････････････････ ３２
３．貸借対照表の推移 ･････････････････････････････････ ３３
４．貸借対照表関係比率の推移 ･････････････････････････ ３４
５．事業活動収支計算書関係比率の推移 ･････････････････ ３４
６．在学生数・教職員数の推移 ･････････････････････････ ３４
７．５年間の財務　経年比較表 ･････････････････････････ ３５

Ⅰ．法人の概要

１．建学の精神

学校法人安田学園は、今から１０７年前の大正４年１月２１日、初代学園長安田リヨウにより創立された広島技芸女学校に始まります。

安田リヨウは、「女子に教育は無用」とする風潮が強かった時代に、自らの経験を通じて、女子教育の重要性と必要性を痛感したことから、「品格と教養を兼ね備えた女性の育成を目標とした学校を造りたい」という願いを強く持ち「柔しく剛く」を建学の精神とする学校を開校しました。

その後学園は、戦時下での女子教育の継続、また、原爆により生徒や教職員に多数の犠牲者を出す等、多くの苦難を乗り越え、学園の復興と教育研究体制の充実をはかり、幼稚園から大学院までを設置する総合学園に発展しました。

現在では「幼児教育から最高水準の教育を一貫して行える子女教育の総合学園」として地域社会から高い評価を得るまでになっています。

建学の精神「柔しく（やさしく）剛く（つよく）」は、「人間としての柔しさや徳性を身につけた人格を形成し、人間として剛い意志をもって社会に貢献することのできる、心身ともに健全な教養ある人間を育成する」ことをめざした安田リヨウの信念です。学園はこれを基本的教育方針として、長年にわたり堅実な子女の育成に努め、多数の人材を社会に送り出してきました。

学園が創設された大正から昭和、平成、令和へと時代は移り変わり、社会が大きく変化していく中で、学園は発展を遂げてきました。そして、世の中の変動に流されることなく守り続けてきた創立以来の理念・教育方針を、これからもしっかりと受け継いでまいります。

２．設置する学校及び所在地

（１）安東キャンパス

広島市安佐南区安東6丁目13番1号

学 校 名	学部・学科・専攻・課程	開設年度	備　考
安田女子大学	大学院　文学研究科	1994年度 （平成6年度）	
	博士前期課程		
	日本語学日本文学専攻		
	英語学英米文学専攻		
	教育学専攻		
	教育学・心理学コース		
	臨床心理学コース		
	博士後期課程	1996年度 （平成8年度）	
	日本語学日本文学専攻		
	英語学英米文学専攻		
	教育学専攻		
	家政学研究科	2013年度 （平成25年度）	
	修士課程		
	健康生活学専攻		
	薬学研究科	2013年度 （平成25年度）	
	博士課程		
	薬学専攻		
	看護学研究科	2018年度 （平成30年度）	
	博士前期課程		
	看護学専攻		
	博士後期課程		
	看護学専攻		
	文学部　日本文学科	1966年度 （昭和41年度）	
	書道学科	2011年度 （平成23年度）	
	英語英米文学科	1966年度 （昭和41年度）	
	教育学部　児童教育学科	2012年度 （平成24年度）	
	心理学部　現代心理学科	2018年度 （平成30年度）	
	ビジネス心理学科	2018年度 （平成30年度）	
	現代ビジネス学部　現代ビジネス学科	2003年度 （平成15年度）	
	国際観光ビジネス学科	2015年度 （平成27年度）	
	公共経営学科	2020年度 （令和 2年度）	
	家政学部　生活デザイン学科	2004年度 （平成16年度）	
	管理栄養学科	2004年度 （平成16年度）	
	造形デザイン学科	2016年度 （平成28年度）	
	薬学部　薬学科	2007年度 （平成19年度）	
	看護学部　看護学科	2014年度 （平成26年度）	
安田女子短期大学	保育科	1955年度 （昭和30年度）	
安田幼稚園安東園舎		1981年度 （昭和56年度）	

（２）白島キャンパス

広島市中区白島北町1番41号（小学校・中学校・高等学校）
広島市中区白島中町2番25号（幼稚園）

学 校 名	学部・学科・専攻・課程	開設年度	備　考
安田女子高等学校	全日制課程　普通科	1948年度 （昭和23年度）	
安田女子中学校		1947年度 （昭和22年度）	
安田小学校		1956年度 （昭和31年度）	
安田幼稚園		1953年度 （昭和28年度）	

３．沿　革

1915年	大正 4年	1月	広島技芸女学校開校の開設認可を広島県知事より受ける
		4月	各種学校令による広島技芸女学校開校（広島市中島本町）
1917年	6年	10月	校地を広島市基町（現西白島町）に移す
1918年	7年	4月	広島技芸女学校を安田技芸女学校と改称
			実業学校令による広島技芸女学校開校
1920年	9年	4月	安田技芸女学校は旧名の広島技芸女学校に復称
			広島技芸女学校を高等女学校令による広島実科高等女学校に昇格
1922年	11年	4月	広島実科高等女学校を改組して安田高等女学校を開校
1927年	昭和 2年	8月	広島技芸女学校を広島高等家政女学校と改称（昭和20年3月まで存続）
1928年	3年	8月	安田高等女学校を財団法人安田高等女学校に改組
1930年	5年	5月	広島女子教員養成所開所
1944年	19年	3月	広島女子教員養成所廃止
		5月	安田高等女学校内に保育所併設（昭和20年3月まで）
1945年	20年	8月	原子爆弾のため職員13名、生徒315名死亡　校舎全壊　終戦
		12月	校地に旧工兵隊跡地使用の内諾を得、翌年1月本格的復興工事開始
1946年	21年	4月	安田高等女学校5年制となる
1947年	22年	4月	学制改革により安田女子中学校を開校
			広島Y・D・Mカレッヂ開校
1948年	23年	5月	学制改革により安田高等女学校を廃止し、安田女子高等学校を開校
1951年	26年	3月	学校法人安田学園へ組織を変更
		4月	広島県の委嘱をうけ広島県保育専門学校を開校（昭和28年3月まで）
1953年	28年	4月	安田学園幼稚園教員養成所を設置
		6月	昭和27年5月開園した安田保育園を廃止し、安田幼稚園を開園
1955年	30年	4月	安田女子短期大学保育科開学
1956年	31年	3月	安田学園幼稚園教員養成所廃止
		4月	安田小学校開校
			安田幼稚園を安田女子短期大学付属幼稚園と改称
1961年	36年	4月	短期大学に家政科増設
1965年	40年	3月	広島Y・D・Mカレッヂ廃止
1966年	41年	4月	安田女子大学文学部日本文学科、英米文学科が安東校地に開学
1967年	42年	9月	短期大学を白島校地より安東校地に移転
1975年	50年	4月	大学文学部に児童教育学科増設
1981年	56年	4月	安田女子大学付属幼稚園を安東校地に開園
1984年	59年	4月	大学文学部英米文学科を英語英米文学科に名称変更
1988年	63年	4月	短期大学に秘書科増設
1991年	平成 3年	4月	短期大学家政科を生活科学科に名称変更
1994年	6年	4月	大学に大学院文学研究科修士課程日本語学日本文学専攻、英語学英米文学専攻、教育学専攻設置
1996年	8年	4月	大学院文学研究科に博士後期課程を設置
1998年	10年	4月	大学文学部に人間科学科を増設
2002年	14年	4月	大学文学部日本文学科を日本文学専攻、書道文化専攻の2専攻に分割
2003年	15年	4月	大学に現代ビジネス学部現代ビジネス学科を増設
2004年	16年	4月	大学に家政学部生活デザイン学科、管理栄養学科を増設
			大学文学部人間科学科を心理学科に改組、人間科学科は学生募集停止
			短期大学生活科学科は学生募集停止
2005年	17年	3月	短期大学生活科学科を廃止

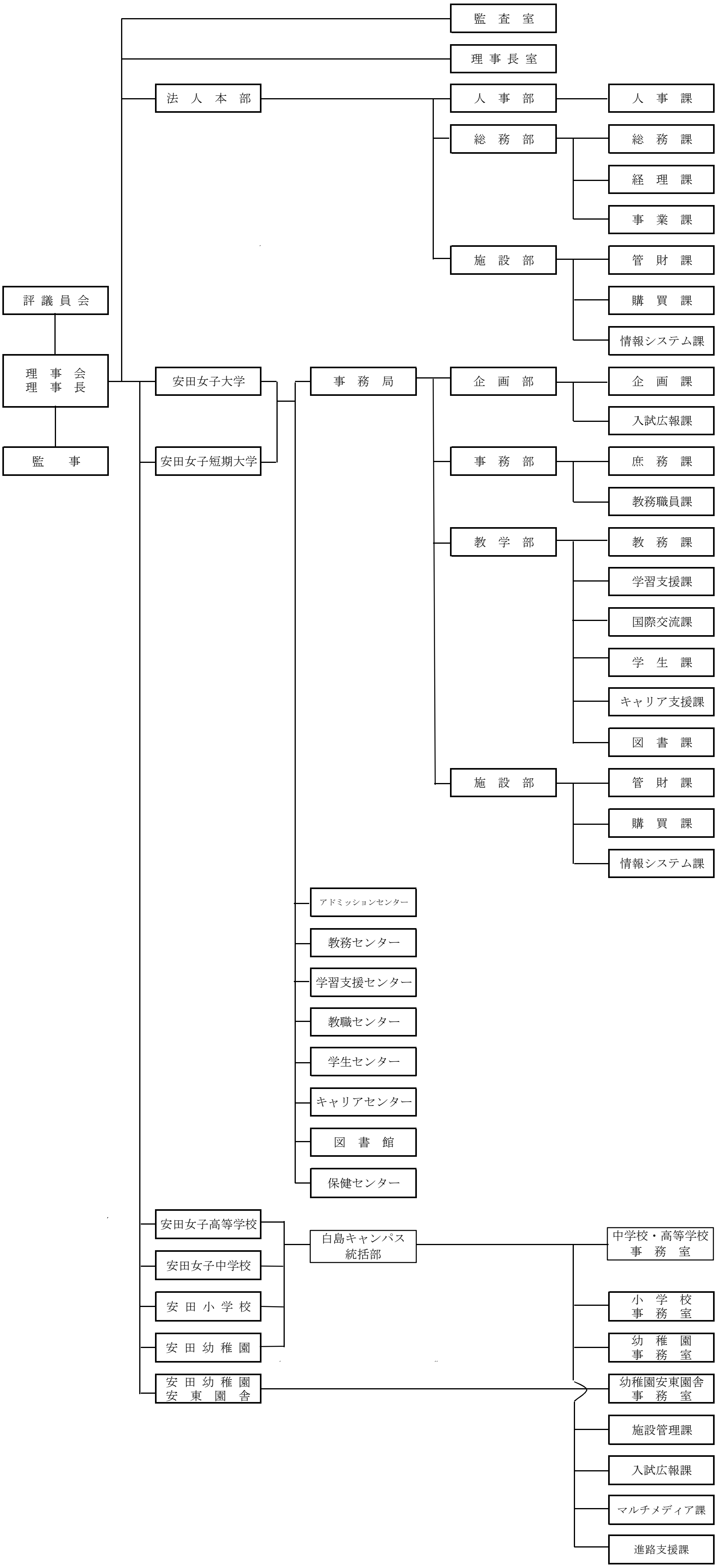
2007年	19年	4月	大学に薬学部薬学科（6年制）を増設
		9月	大学文学部人間科学科を廃止
2011年	23年	4月	大学文学部日本文学科日本文学専攻を日本文学科に改組、日本文学科日本文学専攻は学生募集停止
			大学文学部日本文学科書道文化専攻を書道学科に改組、日本文学科書道文化専攻は学生募集停止
2012年	24年	4月	大学文学部児童教育学科を教育学部児童教育学科に改組、文学部児童教育学科は学生募集停止
			大学文学部心理学科を心理学部心理学科に改組、文学部心理学科は学生募集停止
2013年	25年	4月	大学院に家政学研究科修士課程健康生活学専攻を増設
			大学院に薬学研究科博士課程薬学専攻を増設
2014年	26年	4月	大学に看護学部看護学科を増設
2015年	27年	3月	大学文学部児童教育学科を廃止
		4月	大学に現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科を増設
			短期大学秘書科は学生募集停止
2016年	28年	3月	短期大学秘書科を廃止
		4月	大学に家政学部造形デザイン学科を増設
2017年	29年	9月	大学文学部心理学科を廃止
2018年	30年	4月	大学心理学部心理学科を現代心理学科に名称変更
			大学に心理学部ビジネス心理学科を増設
			大学院に看護学研究科博士前期課程看護学専攻を増設
			大学院に看護学研究科博士後期課程看護学専攻を増設
2020年	令和　2年	4月	安田女子短期大学付属幼稚園を安田幼稚園に改称
			安田女子大学付属幼稚園を安田幼稚園安東園舎に改称
			大学に現代ビジネス学部公共経営学科を増設

4．組　織　図

（1）学校機構図

- 学校法人　安田学園
  - 安田女子大学大学院
    - 文学研究科 博士前期課程 博士後期課程
      - 日本語学日本文学専攻
      - 英語学英米文学専攻
      - 教育学専攻
        - 教育学・心理学コース
        - 臨床心理学コース
    - 家政学研究科修士課程
      - 健康生活学専攻
    - 薬学研究博士課程
      - 薬学専攻
    - 看護学研究科 博士前期課程 博士後期課程
      - 看護学専攻
  - 安田女子大学
    - 文学部
      - 日本文学科
      - 書道学科
      - 英語英米文学科
    - 教育学部
      - 児童教育学科
    - 心理学部
      - 現代心理学科
      - ビジネス心理学科
    - 現代ビジネス学部
      - 現代ビジネス学科
      - 国際観光ビジネス学科
      - 公共経営学科
    - 家政学部
      - 生活デザイン学科
      - 管理栄養学科
      - 造形デザイン学科
    - 薬学部
      - 薬学科
    - 看護学部
      - 看護学科
  - 安田女子短期大学
    - 保育科
  - 付属施設
    - 図書館
    - 実践教育研究所
    - 発達・臨床心理研究所
      - 心理教育相談室
    - 薬用植物園
    - 学習支援センター
    - 教職センター
    - 保健センター
  - 安田女子高等学校
    - 普通科
  - 安田女子中学校
  - 安田小学校
  - 安田幼稚園
  - 安田幼稚園安東園舎

（２）事務組織図



監　査　室
理事長室
法人本部
人事部
人事課
総務部
総務課
経理課
事業課
施設部
管財課
購買課
情報システム課
評議員会
理事会
理事長
監事
安田女子大学
安田女子短期大学
事務局
企画部
企画課
入試広報課
事務部
庶務課
教務職員課
教学部
教務課
学習支援課
国際交流課
学生課
キャリア支援課
図書課
施設部
管財課
購買課
情報システム課
アドミッションセンター
教務センター
学習支援センター
教職センター
学生センター
キャリアセンター
図書館
保健センター
安田女子高等学校
安田女子中学校
安田小学校
安田幼稚園
安田幼稚園安東園舎
白島キャンパス統括部
中学校・高等学校事務室
小学校事務室
幼稚園事務室
幼稚園安東園舎事務室
施設管理課
入試広報課
マルチメディア課
進路支援課

５．設置する学校の入学定員、編入学定員、収容定員、在学生数

2021年5月1日現在　（単位:人）

設置学校	入学定員	編入学定員	収容定員	在学生数	備考
安田女子大学					
大学院					
文学研究科					
博士前期課程	30	―	60	12	
博士後期課程	9	―	27	5	
家政学研究科　修士課程	3	―	6	3	
薬学研究科　博士課程	2	―	8	0	
看護学研究科					
博士前期課程	10	―	20	0	
博士後期課程	3	―	9	3	
大学院計	57	―	130	23	
文学部					
日本文学科	90	1	362	399	
書道学科	30	1	122	115	
英語英米文学科	110	2	444	430	
文学部計	230	4	928	944	
教育学部					
児童教育学科	150	10	620	554	
教育学部計	150	10	620	554	
心理学部					
心理学科				3	
現代心理学科	60	1	242	285	
ビジネス心理学科	60	1	242	219	
心理学部計	120	2	484	507	
現代ビジネス学部					
現代ビジネス学科	90	1	424	421	
国際観光ビジネス学科	90	1	332	332	
公共経営学科	60	―	120	94	
現代ビジネス学部計	240	2	876	847	
家政学部					
生活デザイン学科	130	2	499	532	
管理栄養学科	120	―	480	438	
造形デザイン学科	80	―	320	273	
家政学部計	330	2	1,299	1,243	
薬学部					
薬学科	100	―	680	551	
薬学部計	100	―	680	551	
看護学部					
看護学科	120	―	480	493	
看護学部計	120	―	480	493	
学部計	1,290	20	5,367	5,139	
大学計	1,347	20	5,497	5,162	
安田女子短期大学					
保育科	150	―	300	299	
短大計	150	―	300	299	
安田女子高等学校					
全日制課程　普通科	270	―	810	714	
安田女子中学校	200	―	750	510	
安田小学校	80	―	480	494	
安田幼稚園	70	―	210	210	
安田幼稚園安東園舎	70	―	210	207	
学園合計			8,257	7,596	

６．役員等の概要

（１）役員

理事　　　　　　９　人（理事長１人含む）
監事　　　　　　２　人

2022年3月末現在

役員名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	担当する職務内容や期待する役割等
理事長	安 田 裕 実	2008.4.1	常勤	学校法人安田学園 理事長
理事	瀬 山 敏 雄	2019.4.1	常勤	安田女子大学･短期大学 学長
理事	川 本 有 美	2019.4.1	常勤	安田女子中学高等学校 校長
理事	大 方 幸 一 郎	2020.5.25	非常勤	外部情報の提供
理事	山 野 瑞 枝	2020.5.25	非常勤	卒業生との連携
理事	栗 栖 孝 明	2021.11.11	常勤	安田女子大学･短期大学 学長補佐 事務局長
理事	山 代 猛 博	2021.11.11	非常勤	外部情報の提供
理事	池 田 智 子	2020.5.25	常勤	安田女子大学･短期大学 学長補佐 大学教授
理事	宝 嘉 正 博	2020.5.25	常勤	学校法人安田学園 法人本部本部長
監事	古 賀 康 弘	2020.5.25	非常勤	業務、財産及び理事の業務執行の監査
監事	武 井 康 年	2020.10.14	非常勤	業務、財産及び理事の業務執行の監査

（２）責任免除・責任限定契約、補償契約・役員賠償責任保険契約の状況

①　責任限定契約

私立学校法に従い、２０２０年１０月６日に責任限定契約を締結しました。

Ａ．対象役員の氏名

非業務執行理事（山野瑞枝、山代猛博、大方幸一郎）　監事（古賀康弘、武井康年）

Ｂ．契約内容の概要

非業務執行理事及び監事が任務を怠ったことによって生じた損害について、学園に対し賠償する責任は、その職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、私立学校法において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律で定める額（以下、「最低責任限度額」という。）を上限に学園があらかじめ定めた額と、最低責任限度額とのいずれか高い額を責任限度額とします。

Ｃ．契約によって職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

契約の内容に、役員がその職務を行うに当たり善意でかつ重大な過失がないときに限る旨の定めがあります。

②　補償契約

締結しておりません。

③　役員賠償責任保険制度

私立学校法に従い、理事会決議により２０２０年４月１日から私大協役員賠償責任保険に加入しており、２０２１年度も前年同内容で継続加入しました。

Ａ．団体契約者

日本私立大学協会

Ｂ．被保険者

記名法人 … 学校法人安田学園

個人被保険者 … 理事長、理事、監事、および評議員

Ｃ．補償内容

ａ．役員（個人被保険者）に関する補償

法律上の損害賠償金、争訟費用等

b．記名法人に関する補償
法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等
D．支払い対象とならない主な場合（職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置）
法律違反に起因する対象事由等
E．保険期間中総支払限度額
５億円

（３）評議員

評議員　25　人

2022年3月末現在

役員名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤	学内での現職
評議員	瀬山敏雄	2020.7.29	常勤	安田女子大学･短期大学 学長
評議員	佐藤　聡	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園白島キャンパス 統括部部長
評議員	新田哲之	2020.7.29	常勤	安田小学校 校長
評議員	山本勝也	2020.7.29	常勤	安田幼稚園 園長
評議員	川本有美	2020.7.29	常勤	安田女子中学高等学校 校長
評議員	川畑　誠	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園 法人本部総務部部長
評議員	染岡慎一	2020.7.29	常勤	安田女子大学・短期大学 学長補佐 大学教授
評議員	栗栖孝明	2020.7.29	常勤	安田女子大学･短期大学 学長補佐 事務局長
評議員	小川圭司	2020.7.29	常勤	安田女子大学・短期大学 事務局次長
評議員	安田　馨	2020.7.29	常勤	安田女子中学高等学校 副校長
評議員	谷　俊之	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園 法人本部人事部部長
評議員	石田　泰隆	2021.11.2	常勤	安田女子中学高等学校 教諭
評議員	山野瑞枝	2020.7.29	非常勤	―
評議員	鈴木育江	2020.7.29	非常勤	―
評議員	八反田三千子	2020.7.29	非常勤	―
評議員	今田正敏	2020.7.29	非常勤	―
評議員	浜本真知子	2020.7.29	非常勤	―
評議員	三上留美	2020.7.29	常勤	安田幼稚園安東園舎 園長
評議員	安田裕実	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園 理事長
評議員	山代猛博	2020.7.29	非常勤	―
評議員	宝嘉正博	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園 法人本部本部長
評議員	髙口圭轉	2020.7.29	常勤	安田女子大学･短期大学 学長補佐 大学教授
評議員	大方幸一郎	2020.7.29	非常勤	―
評議員	奥田孝憲	2020.7.29	常勤	学校法人安田学園 法人本部教育監
評議員	池田智子	2020.7.29	常勤	安田女子大学･短期大学 学長補佐 大学教授

（４）教職員

2021年5月1日現在

区　　分	教　　員	事務職員	非常勤教員	兼務職員
安田女子大学	213	119	206	64
安田女子短期大学	14	4	9	5
安田女子高等学校	51	16	6	13
安田女子中学校	40	7	3	7
安田小学校	29	4	7	10
安田幼稚園	13	2	0	16
安田幼稚園安東園舎	13	1	0	13
その他	0	1	0	2
学　園　合　計	373	154	231	130

Ⅱ．事業の概要

１．当該年度の主な事業

（１）安田女子大学・安田女子短期大学

①　中期計画の進捗・達成状況

Ａ．3 つのポリシーは公式ホームページで公表し、学生、教職員及び地域社会に周知しています。また、シラバスに当該科目とディプロマポリシーの関連を示し、3 つのポリシーに沿った教育の展開の強化に努めています。

Ｂ．本学の責任において恒常的な自己点検・評価を行い、質保証に努めることを目的とし、外部の評価員及び自己点検・評価委員会にて 3 つのポリシーに沿った適正な運用状況を検証しました。その後、ＦＤ委員会で報告し、3 つのポリシーに沿った人材養成、教育の実施、入学生の確保がされていることを点検しました。

Ｃ．筆文化及び地域社会の振興と発展に寄与することを目的に、熊野町と包括連携協定を締結し、3 月 21 日に調印式を実施しました。本協定の締結により、筆文化の振興・発展・魅力の普及に関すること、筆文化の次世代への継承に関すること、まちの活性化とまちづくりの推進に関すること、教育、研究、文化の発展・向上に関すること等について、同町と連携、協力してまいります。

Ｄ．教育学部児童教育学科では、2022 年度以降の入学生を対象に 5 年間で「学士」及び「修士」の学位が取得可能な「学部・大学院 5 年一貫コース」の新設に向け、小学校教諭専修免許状を有する高度な専門性の高い小学校教員を養成するための教育課程及び制度整備を行いました。

Ｅ．公式ホームページでの 3 つのポリシーの公表に加え、求める入学者を『入学試験ガイド』に記載し、入学前段階から理解を促しました。また、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、対面を基本とする学生募集活動を展開しました。主な学生募集活動は、新設した春のキャンパスフェア（4 月）、高校 3 年生・保護者対象大学説明会（6 月）、オープンキャンパス（7・8 月）、高校訪問（通年受入）、キャンパス見学（通年受入）等です。入学試験では学外試験会場を 2 会場増やし、入学者選抜では厳正に定員管理を行いました。また、公式ホームページにおいては、ユーザビリティ向上を目的としてスマートフォン対応の改修等により、閲覧者・閲覧数ともに増加させました。

Ｆ．電子データで効率的に出席状況を把握し、授業における出席確認の時間削減を図りました。更に複数の評価方法を併用して授業の到達目標に照らした学修の達成度を多様な観点から評価することをシラバスに示し、厳格かつ適正な評価を通じた単位認定を行うとともに、学科ごとのＧＰＡの分析により成績分布の把握を行いました。また、全学生を対象に実施した「学生生活に関する実態調査」集計結果を分析し、学科ごとの学修状況、学生生活について現状を把握し、大学運営に活かしました。これらの取り組みにより、多角的な教育の質の保証に努めました。

Ｇ．ＦＤ委員会、人事部人事課や企画部企画課によるＦＤ・ＳＤの企画・運営により、計画的かつ体系的な研修を行い、自己啓発を例年通り推進しました。特に新任教職員については、複数回研修を行い、本学園の伝統・文化、方針の浸透を図りました。また、本学では各学部・学科において活発にＦＤ活動が展開されており、他学科のＦＤ研修会を参考にＦＤ活動のより一層の活性化を図ることを目的とし「学科ＦＤ通信」を作成しました。

H．短期大学保育科は、幼保連携の重要性を全学生に説明し、教育を行いました。その結果、2021 年度卒業生は幼稚園教諭二種免許状 99%、保育士資格 98％の取得率でした。潜在保育士・幼稚園教諭・保育教諭の復職支援のための研修や現任の保育士等のキャリアアップについては、広島県との連携協力協定の枠組みを利用して進めています。

② 新型コロナウイルス感染症による教育・研究活動への影響

A．授業実施について

広島県知事からの「新型コロナ感染拡大防止集中対策」の要請及び緊急事態宣言発出のため、5 月 19 日から 6 月 22 日までの期間、対面授業を休止し、遠隔授業（オンライン授業）を実施しました。ただし、対面授業が不可欠な実験・実習等の一部授業については、対面授業を継続実施しました。また、学外の教育機関や医療機関等での実習の一部については、実習先の変更や学内実習への振替を行うなどの対応を行い、学修機会と学修環境の確保に努めました。

6 月 23 日に対面授業を再開してから前期授業期間終了までは、登学・帰宅時の過密防止対策として、1 時限目の授業の約半数を 5・6 時限目に変更しました。

新型コロナウイルス感染拡大の状況下においても、学生の学修機会を確保し、教育の質を維持・向上させることが本学の使命と考え、対面による学びの成果、学生同士や学生と教職員の間の人的な交流の大切さを個々の学生が実感できるよう、適切な感染症対策を講じた上で、対面授業の実施に努めました。

B．授業時間帯の変更

新型コロナウイルス感染症対策及び授業時間確保のため、2020 年度は、1 時限 105 分の授業を 13 回実施する授業計画に変更しましたが、2021 年度は、1 時限 90 分の授業を半期 15 回実施する従来どおりの授業計画としました。

さらに、学修機会と単位認定のために必要な授業時間数の確保、予習・復習など更なる学修機会や授業外活動の機会を得るためなど、時間を有効活用できるよう 1 時限目の授業開始時刻を午前 9 時から午前 8 時 30 分に変更しました。

C．授業目的公衆送信補償金制度

ＩＣＴを活用した教育内容の充実や教育効果の向上への期待が高まる中、インターネット上での著作物利用を適切に行うため、全学生を対象に「授業目的公衆送信補償金制度」の利用手続きを行いました。この手続きにより、著作物を用いて作成した教材の送信など、授業の過程で利用するために必要な公衆送信については、個別に著作権者等の許諾を得る必要がなく、著作物を円滑に利用できるようになりました。

D．文部科学省の「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」に薬学部薬学科と看護学部看護学科が採択され、2,480.9 万円の交付を受けました。本事業は、実習の補完的に実施されているオンライン教育やシミュレーション教育を、デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の技術を活用して大幅に向上させ、実践的な教育プランを構築し、即戦力となり得る高度な医療人材を継続的に養成することを目的としています。

③ 職域接種の実施

国の方針を受けて、医師・看護師・薬剤師の資格を有する本学教員の協力のもと 6 月 23 日から新型コロナウイルスワクチン職域接種を開始し、約 2 か月半の間に学生、生徒、本学の教職員（常勤・非常勤）、学内関係者及び、近隣大学の学生、近隣の教育関係者など約 7,500 名が 2 回目接種までを終えました。また、国の追加接種早期実施の要請を受けて、当

初の実施予定（2022 年 4 月）を繰り上げて、2 月 25 日と 3 月 11 日から 15 日に職域追加接種（3 回目接種）を実施しました。

④　授業料減免及び免除支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響により家計が急変した世帯の学生を支援するため、減免制度を設けました。2021 年度は 11 名に対して 1 人当たり授業料 20 万円を減免することを決定し、減免合計額は 220 万円となりました。日本私立大学振興・共済事業団より減免合計額の 3 分の 2 に当たる 146 万円の交付金を受けました。

また、本学では災害等により経済的に修学困難となった学生を支援するため、2019 年度より授業料等免除制度を設けています。2021 年度は熊本県を中心に被害をもたらした令和 2 年 7 月豪雨の災害で被災した学生 1 名と広範囲に被害をもたらした令和 3 年 8 月豪雨で被災した学生 1 名に対して授業料及び施設設備費を免除することを決定しました。日本私立大学振興・共済事業団より免除合計額 138.5 万円の 3 分の 2 に当たる 92.3 万円の交付金を受けました。

⑤　朝食無料提供及び夕食半額補助

朝食は、「学生食堂まほろば」で新型コロナウイルスの感染予防策を講じながら、2020 年度に引き続き、無料での提供を行いました。より多くの学生に毎日朝食を食べてから勉学に励んでほしい、朝食をとることで生活リズムを整えてほしいという思いで継続して支援しています。授業期の平日午前 7 時 45 分から 9 時 15 分まで営業しており、毎日 300～650 名の学生が利用しました。

夕食は、弁当形式で半額補助を行い 200 円（通常 400 円）で提供し、毎日 140 名～350 名の学生が利用しました。

⑥　奨学金／留学生交流支援制度（短期派遣）

本学の海外留学プログラムに参加する学生を経済的に支援するため、独立行政法人日本学生支援機構の海外留学支援制度（協定派遣）に以下のプログラムが採択されました。

海外留学支援制度（協定派遣）とは、日本の大学、大学院及び短期大学等が諸外国の学校等と学生交流に関する協定等を締結し、それに基づく諸外国の学校等への短期間の学生派遣を支援する奨学金です。

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で支援可能なプログラムを催行できなかったことに伴い、同機構から受けた奨学金の給付はありませんでした。

【採択プログラム】

Ａ．英語英米文学科　アメリカ派遣 6 ヵ月留学（STAYS）

Ｂ．英語英米文学科　カナダ派遣 6 ヵ月留学（STAYS）

Ｃ．国際観光ビジネス学科　国際観光ハワイプログラム（HIBISCUS program）

Ｄ．児童教育学科　海外教育語学研修（SEEC）

Ｅ．看護学科　国際交流・実践（IEAP）

Ｆ．現代ビジネス学科　グローバルビジネス海外研修プログラム（G.BEST）

Ｇ．現代ビジネス学科　海外語学ビジネス研修（G.LABOS）

Ｈ．全学科　北米文化語学演習（NACLP）

⑦　本学の海外留学プログラムに参加する学生を経済的に支援するため、本学として、次のプログラムの支援を行う予定でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で支援可能なプログラムを催行できなかったことに伴い、本制度による支援も行えませんでした。

【対象プログラム】

Ａ．英語英米文学科　アメリカ派遣６ヵ月留学（STAYS）

Ｂ．英語英米文学科　カナダ派遣６ヵ月留学（STAYS）

Ｃ．国際観光ビジネス学科　国際観光ハワイプログラム（HIBISCUS program）

⑧　教育ローン利息補給奨学金とは、指定金融機関の教育ローンを利用して納入する学納金等に係る利息の一部を奨学金として学生又は学生の保護者に補給するものです。

2021 年度は、本奨学金の給付を希望する学生を選考し、合計 51 名に総額で約 148 万円を給付しました。

⑨　新入生歓迎行事

オリエンテーションセミナー（通称：オリゼミ）は、1976 年から 45 年以上続いている本学の伝統行事です。毎年５月に新入生を対象に、広島県江田島市または島根県大田市の研修施設で２泊３日のグループ研修を実施していますが、2021 年度は期間や場所等を変更して実施しました。

<table>
<tr><td>2021年 5月 6日～ 8日</td><td>現代心理学科
国際観光ビジネス学科
保育科</td><td rowspan="3">国立江田島青少年交流の家</td></tr>
<tr><td>2021年 5月 8日～ 10日</td><td>現代ビジネス学科
公共経営学科
看護学科</td></tr>
<tr><td>2021年 5月10日～ 12日</td><td>日本文学科
書道学科
ビジネス心理学科
薬学科</td></tr>
<tr><td>2021年 5月 6日～ 8日</td><td>英語英米文学科
児童教育学科</td><td rowspan="2">国立三瓶青少年交流の家</td></tr>
<tr><td>2021年 5月 8日～ 10日</td><td>生活デザイン学科
管理栄養学科
造形デザイン学科</td></tr>
<tr><td>2021年11月 2日～ 4日</td><td>現代ビジネス学科</td><td>国立江田島青少年交流の家</td></tr>
<tr><td>2021年11月 2日～ 4日</td><td>書道学科</td><td>国立三瓶青少年交流の家</td></tr>
<tr><td>2021年12月 3日～ 4日</td><td>公共経営学科</td><td>宮島</td></tr>
</table>

⑩　学習支援

A．課外講座

開講及び受講状況は、次のとおりです。

提供講座：30 講座　　開講講座：29 講座　　延べ受講者数：695 名

B．ボランティア活動

28 件のボランティア活動の募集を行い、延べ 55 名の学生が参加しました。

C．各種検定試験

学内で申込みを受け付けている検定試験は、「Test of English for International Communication（以下、TOEIC®という。）」「日本語検定」「日本漢字能力検定」「硬筆書写技能検定」「毛筆書写技能検定」「文部科学省後援 秘書技能検定（以下、秘書検定という。）」「日本商工会議所及び各地商工会議所主催簿記検定試験（以下、日商簿記検定という。）」です。秘書検定と日商簿記検定以外の検定は、学内試験を実施しています。これらの検定試験（日商簿記検定を除く）は、受験料の一部を安田女子大学後援会から補助を受けています。2021 年度における各検定試験の申込者数は、下表のとおりでした。

（単位：名）

検定試験	級	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	合計
TOEIC®	―	0	671	407	272	1,350
日本漢字能力検定	2 級	0	39	9		48
	準 2 級	0	5	3		8
秘書検定	準 1 級	12	2	―		14
	2 級	155	79	64		298
	3 級	19	6	4		29
日商簿記検定	2 級	6	2	6		14
	3 級	66	18	54		138

D．公務員勉強会

公務員勉強会には、1 年生から 6 年生まで 261 名が参加し、8 号館 5 階ラーニングコミュニティでの自主勉強会及び個別指導を行いました。更に資格スクールにより学内で行われる 2021 年度受験者向けの直前講座（44 名受講）と 2022 年度受験者向けの通年講座（158 名受講）の 2 講座を開講しました。

2021 年度卒業生の公務員就職決定先は、行政職（国家一般・地方上級）20 名、資格職（保健師・栄養士・建築職）13 名、公安職（警察・消防）3 名であり、合計 36 名が公務員就職を果たしました。

E．海外研修プログラム

外国の言語や会話の学習に加えて文化や習慣について理解を深めるために「海外研修プログラム」を実施し、単位認定をしています。2021 年度は、以下のプログラムを実施しました。

a．アメリカ/カナダ派遣 6 ヵ月留学（STAYS）10 単位

対　象：　大学文学部英語英米文学科 3 年生（参加者：47 名）

期　間：　2021 年 11 月 11 日～2022 年 2 月 2 日（84 日間）

派遣先：　カリフォルニア大学デイヴィス校（アメリカ）

b. アメリカ/カナダ派遣 6 ヵ月留学（STAYS）10 単位

対　象：　大学文学部英語英米文学科 3 年生（参加者：54 名）

期　間：　2021 年 11 月 11 日～2022 年 2 月 2 日（84 日間）

派遣先：　ピッツバーグ大学（アメリカ）

c. 国際観光ビジネス学科国際観光ハワイプログラム（HIBISCUS program）（再渡航）6 単位

対　象：　大学現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科 3 年生（参加者：53 名）

期　間：　2021 年 10 月 21 日～2021 年 12 月 23 日（64 日間）

派遣先：　ハワイ大学マノア校（アメリカ）

Ｆ．文部科学省「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」

児童教育学科の学生 1 名が、第 14 期生として大学全国コース（多様性人材コース）に採用されました。オランダで教育活動（イエナプラン）のインターンシップを実施予定です。

⑪　就職活動支援

2020 年度に引き続き、企業の採用活動のオンライン化は継続されており、オンライン面接用の部屋と照明機器などを用意し、学生が安心して面接を受けられる環境を整備しています。個別指導で学生一人ひとりの自立を支援し、積極的できめ細かいサポートを行った結果、大学の就職率は、99.1％（2020 年度比△0.1 ポイント）でした。短期大学の就職率は、9 年連続 100％でした。

また、引き続きＵターン就職及び首都圏等の県外で就職活動を行う学生に対して、就職活動における旅費補助制度を設けています。

Ａ．対象となる就職活動

・説明会参加
・インターンシップ参加
・採用選考参加

Ｂ．補助金額

・Ａ地区（北海道、東北地方、関東地方、中部地方、沖縄地方）　20,000 円
・Ｂ地区（近畿地方、九州地方）　8,000 円
・Ｃ地区（中国地方※広島県除く、四国地方）　3,000 円

Ｃ．ルール

・最大 5 回申請可（※説明会参加は最大 2 回）

⑫　入学式

本学体育館で開催し、卒業生・修了生・本学関係者のみで挙行しました。式典の模様はライブ配信しました。入学式終了後に学科・専攻別にオリエンテーションを実施しました。

⑬　卒業式・修了式

本学体育館で開催し、卒業生・修了生・本学関係者のみで挙行しました。式典の模様はライブ配信しました。

⑭　保護者懇談会

保護者の方々に来学いただき、教員との面談や施設見学の中で、本学の教育等に理解いた

だくことを目的に保護者懇談会を開催しました。各学科別の説明会の終了後は、希望者に対してチューターによる個別懇談、就職・進路に関する個別相談などを行いました。

⑮　ピアノコンクールの開催

ピアノの日頃の練習成果を発表する機会とし、音楽追求への意欲と意識の高揚を図ることを目的として本学の学生を対象に「第2回安田ピアノコンクール」を12月に開催しました。アドバンスト部門144名、ビギナーズ部門234名、合計378名が出場し、部門ごとに、最優秀賞1名、優秀賞1名、優良賞3名、唐花特別賞1名が選考され表彰されました。

⑯　免許状更新講習

現職教員及び教員採用内定者等に対し、教員として必要な資質能力の保持と最新の知識技能を修得する機会である「教員免許状更新講習」を2021年8月に実施しました。

大雨の影響による「避難指示情報」の発令で、講習日程が一部変更となりましたが、幼稚園、小学校、中学校・高等学校（国語・書道・外国語（英語）・家庭）教員コース、栄養教諭コース、養護教諭コースごとに必修講座（6 時間）、選択必修講座（6 時間）及び選択講座（18時間）の合計30時間を開設し、193名が受講しました。

11月に文部科学大臣が会見を行い、教員免許状更新講習の発展的解消の方針が発表されたことから、学内で慎重に協議した結果、2022年度の実施計画を見送ることを決定し、本学ホームページで公表しました。

⑰　施設改修及び整備

Ａ．Ａ棟吸収式冷温水機更新

設置後 23 年が経過し、機能が低下した空調設備を更新することで、省エネを実現すると共に学生により快適な教育環境を提供することができました。

Ｂ．9号館東棟 床更新

設置後 18 年が経過し、劣化した教室・共用部の床を更新することで、教育環境の改善に取り組みました。

Ｃ．9号館連絡通路、通学路エスカレータ照明設備のＬＥＤ化

設置後 18 年が経過した照明設備を、照度確保による環境改善、安全確保、省エネルギー化を目的としてＬＥＤ化しました。

Ｄ．9号館ＩＣＴ教室整備

2022 年度からの家政学部生活デザイン学科のコース制導入（生活デザインコース・建築デザインコース）に備え、9409 教室へ建築系ＣＡＤのソフトウェアをインストールしたパソコン（学生用50台）を整備しました。

（２）安田女子高等学校・安田女子中学校

①　教科連携による探究的な学習の取り組みと高大連携の推進

新しい学習指導要領では日常の授業においても探究的な取り組みが重視され、自ら課題を設定し、その解決に向けて協働的に取り組むことが求められています。本校でもその流れを意識しつつ、総合的な探究の時間と教科との連携を図りながら、探究的な学習に取り組んでいます。

また、高大連携をより一層推進するため、カリキュラムの改定により高校 2・3 年生総合

コースにはＬＣ活動（ともに 3 単位）、高校 3 年生総合コースには高大連携講座（2 単位）という学校設定科目を新設し、安田女子大学を中心として、広島大学など近隣大学との連携をより強化しました。12 月には校内で、全校生徒による研究発表会を行い、日頃の探究活動の成果を発表しています。

② 進路観育成と進路保障の取り組み

6 年間をとおして生徒が適切な進路選択と主体的学習をおこない、自らの進路実現を可能にしていけるよう取り組んでいます。補習は発達段階によりレベル分けし、より適切で主体的な学習ができるよう配慮しています。また高等学校入学時から卒業まで、一貫した進路指導をおこない、進路実現ができるよう各学年で下表のような取り組みをすすめています。

	「進路観の育成や進路保障」に関する主な取り組み
高校 1 年生	学部・学科研究　進路講演会　広大・東大・京大へのオープンキャンパス参加　大学へのオープンキャンパス参加　大学の出張講座受講　模擬授業（課題研究）　早朝・放課後の補習授業　夏期補習　春期補習　学習合宿　進路面談　教科面談
高校 2 年生	進路講演会　広大・東大・京大へのオープンキャンパス参加　大学の出張講座受講　早朝・放課後の補習授業　夏期補習　春期補習　学習合宿　進路面談　教科面談
高校 3 年生	進路講演会　早朝・放課後の補習授業　夏期補習　春期補習　学習合宿　進路面談　教科面談

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部オンラインで実施

③ 牛田総合グラウンドの活用

牛田総合グラウンドでは、日常の体育の授業はもとより、放課後の部活動においても有効に活用しており、各種大会での好成績につながっています。

④ 教員研修の充実

新しい学習指導要領では日常の授業においても探究的な取り組みが重視され、生徒が主体的に学習活動に取り組むように指導することが求められています。

そのため本校においても、生徒が探究的・主体的な授業の取り組みにより、思考力・判断力・表現力を向上させることができるように、ＩＣＴ機器の活用や協働的な授業の取り組みなどを中心に、公開・研究授業を推進しました。

⑤ 国際交流

高等学校では夏期海外研修、短期・長期留学などを実施することにより、異文化体験をし、国際的な視野を広げると共に、日本の伝統文化への理解を深める取り組みを行っています。従来は夏休み中にニュージーランド・ダニーデン市の姉妹校オタゴ女子高校への語学研修、また台湾蘭陽市の姉妹校、国立蘭陽女子高級中学との交流を実施していますが、2020 年度、2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの交流となりました。

計画していた以下の留学等は中止となりました。

Ａ．オタゴ女子高校への語学研修・留学

　ａ．夏期海外研修

期　間　　夏期約３週間　　参加者　　高校１年生約 30 名

ｂ．１年間留学

希望による

ｃ．３ヶ月留学

期　間　　2021 年７月～10 月　約３か月　希望による

ｄ．ニュージーランド３ヶ月留学受入（ホームステイ）

期　間　　2021 年 12 月～2022 年２月

Ｂ．台湾蘭陽市の姉妹校国立蘭陽女子高級中学校との交流

ａ．ＳＳコースの学術的交流(国立蘭陽女子高級中学校訪問)

期　間　　2021 年６月　　4～6 名程度

ｂ．生徒研究発表会と学術的交流(国立蘭陽女子高級中学校の生徒が来校)

期　間　　2021 年 12 月

⑥　体育祭

白島キャンパス再開発で校地内グラウンドが使えない間は、体育祭を 6 月に、広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）で開催しています。従来、中学と高校を別日で開催していたものを同日開催とし、多くの保護者の方々にも来場していただき、盛大に行っています。（2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため午前中学、午後高校での時間別開催)

⑦　オンライン英会話の実施

英語において、書く、読む、聞く、話すの４技能が重要視され、2025 年度の国公立大学入試でも英語 4 技能評価の導入が検討されている中で、特に生徒のスピーキングとリスニングの能力を高めることを目的に、中学 3 年生から高校 2 年生までを対象に Weblio オンライン英会話を実施しました。年 10 回を目標に授業内での実施をすることとし、英検合格者の増加及び英語を話すことへの心理的バリアを取り除く効果があると期待しています。

⑧　生徒証明証のカード化

従来、毎年紙の生徒証明証を作成していましたが、写真の貼付、押印等で事務負担が多大でした。紙の証明証をプラスチック製カードに仕様変更することで、新入生の時に一度作成すれば卒業まで継続できるようにし、効率化を図りました。

⑨　Ｚ会通信添削講座の実施

他校との差別化および生徒一人ひとりに合ったアダプティブラーニングの実現に向けて、Ｚ会通信添削講座（Ｚ会）を実施しています。

この講座については、高校生は一定レベル以上（おおよそ進研模試偏差値 55 以上）の生徒の中から希望者を絞り込み、特進コースの希望者を中心に、学校負担で受講させました。中学生にとっては、毎月の提出、難しい問題などがありましたが、受講者の意識は高く感じられました。

⑩　中学校入試インターネット出願システムの導入

中学校入試においてインターネット出願システムを導入し、出願登録、選考料の納付、受験票ダウンロード、合格発表、入学手続きまでのシステム管理を実現しました。入学金の支

払いについては、本校での現金による手続きを廃止し、銀行振込・コンビニエンスストアでの入金を可能にしたことで、保護者の負担軽減を図りました。

⑪　ルールメイカー育成プロジェクト

2019年度から経済産業省「未来の教室」事業「ルールメイカー育成プロジェクト」のモデル校として、生徒が主体となった校則の見直しを進めています。

このプロジェクトは、対話的・民主的な合意形成のプロセスを経て、生徒たち自身が教員・保護者などと協働して校則やルールを見直し、より良いルールに変えていく取り組みです。2020年度の活動に引き続き、2021年度も中高生25名がプロジェクトに参加し、生徒や保護者にアンケートを実施し、校則の見直しや学校生活環境の改善について、学校と対話をしながら取り組みを進めました。

⑫　高校生模擬企業グランプリ「リアビズ2021」

ＳＴＥＡＭコース１年生のグループ「アカイカンナ」が、平和への願いを込め、広島平和記念公園の折り鶴再生紙を使用したブックカバーを商品化し、グランプリを受賞しました。

⑬　施設・設備改修整備

Ａ．新校舎の活用

ａ．日本文化体験を目的とした教室

茶道などの日本文化を体験できる教室が完成しました。52畳の広さがあり、半分に仕切って利用することも可能です。授業だけでなく課外授業（茶道、箏曲）でも活用し、小学校など白島キャンパス全体での利用も想定しています。

ｂ．換気設備

校舎に24時間換気設備が導入され、1時間あたり平均4.2回の空気入れ替えを行っています。この設備により、感染症対策や二酸化炭素濃度の低下を実現しています。

ｃ．その他設備の設置等

6階ホールにオーダーメイドの半円ベンチ、変形Ｌ型ベンチを設置したほか、屋上には18脚のルイジアナベンチをバランスよく配置しました。ともに生徒たちの憩いの場となっています。また、2階ラーニングコモンズには、マウンテンアッシュの人工樹木を設置しました。開放的な学習スペースに置くことで、明るく心地良い空間を作ることができました。

Ｂ．生徒へのiPad配布等ＩＣＴ機器の整備

校内のWi-Fi環境を整備し、中学生、高校生ともに生徒１人に１台のiPadを貸与することで、ＩＣＴを活用した学力の向上、情報の共有化に努めています。

授業での活用	ロイロノートを活用した協働的な授業、課題の配信、個別添削 Google Formを活用した授業評価、アンケートの実施
情報の共有化	Google classroomを活用した学校、学年、クラス内での情報の提供
その他の活用	中学生はキュベナ　高校生はスタディーサプリを活用したアダプティブラーニング

Ｃ．ラインチェッカーの導入

中学生を対象に登下校管理システム「ラインチェッカー」を導入しています。生徒にビーコン（受信機）を持たせ、学校の昇降口設置の専用リーダーを通過することで、保護者

へメール連絡が届くようになっています。専用リーダーは非接触型で、生徒も特にカードをかざす等の必要もなく、昇降口を通過するだけで良いので、かざし忘れや混雑することもなく運用できています。保護者にとって、中学生の登下校は心配事のひとつであり、生徒の状況を把握できることは、安心に繋がっています。

（３）安田小学校

① 教師力を高める研修（学力と品格を高める安田の教育をめざして）

A．授業力向上

教員の授業力向上をめざし、「自ら学ぶ力を育てる授業の創造」を研究テーマに授業研究を全教員で行いました。教科ごとにチームを作り、全員が研究授業を公開し、その後、研究協議会を行いました。特に、研究授業を行ったことにより、子どもが学びの姿をもって学習し、思考力を高めることにつながったことは大きな成果でした。また、毎週金曜日の放課後に、教員間で自由に授業について話ができる場を持ち、日々の教材研究に力が入り、個々のレベルアップにつながりました。感染症対応のため、発言が困難な状況の中であっても、児童の考えがつながっていくように、教員が工夫するべきことを考えました。

B．しつけ教育指導力向上

しつけ教育の毎月の重点目標のふり返りを行いました。全体での意識統一を図ることができ、児童への指導および学級経営に活かすことができました。

② 一貫校としての取り組み

A．幼稚園・小学校の連携

安田小学校独自の教科「くすのき」の学習で、4 年生は 10 月に、安田幼稚園の年長園児とリモートで読書交流「おはなし広場」を実施しました。

B．中学高等学校・小学校の連携

中学・高等学校の教員間で研究授業に相互参加し、情報交換をしました。

C．大学・小学校の連携

2 月には 5 年生を対象に管理栄養学科の学生による食育教室を実施しました。

③ 保護者との連携

年 6 回、保護者会パパ倶楽部の方が毎回 20 名前後来校され、朝のあいさつ運動（ハロープロジェクト）を実施されました。この他にも、保護者ボランティアとして、1 年生および 2 年生の茶道教室におけるお茶の準備や片付け、2 年生の安田ガイドマップ作りにおける校外探検での移動の手伝い、また、学校と保護者会の共催行事として文化祭を行い、座席の消毒、おやつの配付、パネルの片付けに協力をいただきました。運動会では、テントの設営・撤収、当日の運営を手伝っていただきました。

④ 図書館教育の取り組み

子どもの心を耕し、学力を支える図書館教育を実践しています。「ブックトーク」「ストーリーテリング」「読み聞かせ」「パネルシアター」「読み合い」「アニマシオン」「読書会」などの読書指導や「分類番号」「図鑑と百科事典の使い方」「調べ学習」などの利用指導を図書の時間や特別活動で行いました。パスファインダーを用いて図書資料とＩＣＴを併用した調べ学習も行いました。また「リーディング・ビジット」「読書郵便」「ブックチャ

レンジ」「親子読書」「朝の 10 分間読書」「読書祭り」「英語の絵本の読み聞かせ」等をとおして、図書館教育の充実に取り組みました。

⑤　しつけ指導

『安田式しつけ教育』（書籍）に基づき、第 2 章「学校のしつけ」と第 3 章「授業のしつけ」についてカリキュラムを作成し、全学年で計画的に指導しました。第 1 章「家庭のしつけ」は保護者の方のご協力のもと、指導を行いました。

⑥　安全指導・安全対策

A．登校・下校指導

1 年生と 2 年生を対象に交通安全教室を行いました。また、教員が土曜日や学校行事での下校時に、学校の周りに立ち、児童の安全と迷惑をかけない態度について指導を行いました。8 月には、広島中央警察署の協力を得て、交通安全街頭指導をしていただきました。

B．下校方面別指導

年 2 回、全学年一斉に下校方面別の話し合いを持ち「危険な箇所」や「子ども 110 番の家」の確認をするなど、危険回避能力の向上を図りました。

C．防犯教室

12 月に警察署の方に来ていただき、防犯教室を実施しました。3 年生保護者対象の携帯防犯教室の代わりにプリントを配付し、携帯電話を持たせる上での注意点を理解してもらいました。

D．防災訓練

4 月に防災知識と避難方法を学習し、訓練を年 2 回実施しました。

⑦　多様な体験活動・宿泊学習・鑑賞会等

A．体験活動

a．4 年、5 年スケート教室：広島ビッグウェーブ

b．6 年スノーボード教室：めがひらスキー場

B．宿泊学習

計画していた以下の学習は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部を中止にしました。

a．3 年山の学習 1：もみのき森林公園　6 月 24 日から 1 泊 2 日

b．4 年山の学習 2：帝釈峡・吾妻山　9 月 17 日から 1 泊 2 日（中止）

c．5 年グローバルキャンプ：もみのき森林公園　7 月 1 日から 1 泊 2 日

d．5 年まほろば学習：京都での日本の伝統文化体験学習　10 月 17 日から 2 泊 3 日（2022 年 4 月に延期）

e．6 年山の学習 3：島根県三瓶山一帯　9 月 17 日から 1 泊 2 日（中止）

C．鑑賞会・特別授業

「一流のものを鑑賞させる」というテーマのもと、児童に本物の芸術を味わわせ、豊かな情操を養い、芸術を愛する心を育むことを目的として内容を選定しています。

a．鑑賞会

全学年が 10 月に影絵劇鑑賞会を行いました。

b．特別授業

6 年生は 12 月に広島東法人会による「租税教室」の学習をしました。この授業は 10 年以上前から行っており、11 月に広島東税務署から感謝状をいただきました。

⑧　グローバル人材育成プログラム

グローバル人材育成プログラムの一環として、2021 年度は以下の活動を行いました。

Ａ．姉妹校との交流学習

2 年生は 12 月にレディーマー・ルーザラン小学校の 2 年生からクリスマスカードを受け取り、そのお返しに安田小学校から年賀状を送り、交流を深めました。

5 年生は 5 月にレディーマー・ルーザラン小学校の 5 年生から日本語で書かれた手紙を受け取り、安田小学校からは英語で手紙を送りました。これは、安田とレディーマー・ルーザランの児童のペア活動としての取り組みで、この間、手紙を送った相手と Skype で自己紹介をしました。また、9 月には、お互いが質問状を送り、その返答を Skype で行いました。

Ｂ．その他の国際理解学習

1 年生はハロウィンパーティをとおして英語圏の文化を体験しました。3 年生は学園のネイティブ英語教師に宮島のもみじまんじゅうやお好み焼き、平和公園など広島について英語で伝え、ネイティブ教師からは出身国について教えてもらう授業を行いました。同様に 4 年生はギニアの方が演奏する民族音楽の太鼓や歌を聴き、ダンスを交えて一緒に演奏しました。6 年生は平和学習の一環で、平和のためにできることを考え、社会科の授業では、国際問題を解決するための国連とＮＧＯの働きを学び、自分には何ができるか考えました。また、アメリカ人の広島平和文化センター元理事長を招き、外国人から見た日本の文化について、お話をいただきました。

Ｃ．英語プログラム

英語を学び、使う機会を作ることを目的に、夏休みに 4 年生が、冬休みに 3 年生が 20 名～40 名参加し、English Camp を実施しました。

英語の授業を 1 学年週 3 時間(年間 102 時間)、 2～6 学年週 2 時間(年間 70 時間)実施しました。英語スピーチコンテストを開催し、英語を話す場を作り児童のモチベーションを上げることができました。また、英語専任教師 3 名を配置し、少人数授業やＴＴ授業を行うなど指導形態を工夫しました。

なお、オーストラリア・アデレード郊外での海外研修（4・5 年希望者対象）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にしました。

⑨　全国学力・学習状況調査（全国学力テスト）

全国の子どもたちの学力状況を把握するために文部科学省が毎年する調査で、6 年生を対象として 4 月に行われました。2021 年度の学力・学習状況調査はいずれの領域においても本校の学力は、全国平均と比較して高い学力と学習への意識付けを確認できる結果が得られました。

項目	安田小	全国
国語問題（正答率）	87.0%	64.9%
算数問題（正答率）	93.0%	70.3%
テレビゲーム等の時間が 1 日 1 時間未満	68.3%	24.0%
学級会で互いの意見を尊重して話し合う	64.6%	32.4%

国語の勉強が好き	57.0%	22.9%
自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしている	50.6%	26.5%
算数の勉強が好き	70.9%	40.6%
算数の授業の内容は良く分かる	75.9%	51.7%

（４項目目以下は「あてはまる」と回答した割合）

⑩　保護者支援

A．携帯電話の持たせ方

携帯電話所持は届出制で、ルールについて保護者への理解を図りました。

B．学校カウンセラーの配置

子育ての不安や悩みを相談する場として、学校カウンセラーを配置しました。数名の保護者が継続して利用されました。

C．アフタースクール

放課後の預かりとして、ホームクラスでは宿題や読書、校庭や室内での遊びを行いました。また、英語やそろばん、体操、サッカーなど知識や技能を培うスタディコースを 14 コースに増やし、実施しました。特に今年度は、ピアノ教室や絵画造形教室、毛筆教室といった芸術系の講座を新たに取り入れました。ホームクラスとスタディコースを併用することで、最長 19 時までの放課後預かりが可能なため、年々利用が拡大し全家庭の 8 割が利用登録しています。

D．「れんらくアプリ」導入

定期健康観察や遅刻・欠席の連絡など、家庭と小学校との緊密な情報交換を目的として、「れんらくアプリ」を導入しました。

⑪　児童募集

A．学校公開 week

6 月 28 日（月）～7 月 3 日（土）および 7 月 15 日（木）～17 日（土）、本校の教育に興味を持たれている方を対象として「学校公開 week」を実施し、2 校時に授業参観をすべてのクラスで行いました。

B．児童募集説明会

8 月 21 日（土）に児童募集説明会を実施し、学校説明と入試説明を行いました。

C．保護者面接（入学試験）

10 月 28 日（木）女児保護者、29 日（金）男児保護者

D．園児面接（入学試験）

11 月 1 日（月）女児、2 日（火）男児

E．オープンスクール week

授業公開を行い、子どもの様子や学校を知る機会とするために、当初は 2 月 14 日（月）～19（土）での実施を計画していましたが、まん延防止等重点措置が適用されたため、2 月 28 日（月）～3 月 5 日（土）に延期しました。しかし、この期間にもまん延防止等重点措置が延長されたために、最終的には 2021 年度は中止となりました。

⑫　『風のかたち』発刊

安田小学校校長が、校長に就任した 2015 年から 2017 年までの学校を取り巻く教育に対す

る考え方を綴った『風のかたち 1』が 2021 年 3 月に発刊されました。続いて 11 月には続編となる『風のかたち 2』が発刊され、2018 年から 2020 年度のコロナ禍の学校生活の様子、行事の縮小や中止を余儀なくされる状況においても、やるべきことをやり、代わりにできることを生み出す子どもたちの様子が記録されています。

（４）安田幼稚園

① 保育研究活動

A．重点目標と学校評価

今年度の重点目標を 4 つの柱を通して「やさしい心たくましい力」の育成と定めました。

各柱には自己評価の視点として、①心通うあいさつは「挨拶」、②自然とのかかわりは「野菜や植物への関心」、③友達いっぱいは「異年齢児とのかかわり」、④おはなし広場は「英語への関心」に設定し、指導に努めました。

取組結果に対する学校評価では、保護者評価（Web アンケート、回収率 98%）で各項目とも 4 段階評価で 3.5～3.9、自園評価でも 3.0～4.0 となりました。学校関係者評価委員会でいただいた意見と併せて課題を明確にし、次年度に繋げていきます。

B．職員研修

理論と実技を通して指導の幅を広げることを目的に、安田女子短期大学保育科の教授を講師に招いて職員研修を実施しました。テーマは「心ときめく造形表現」（5 月）、「子どもの『行動』を理解し、保育を考える」（8 月）とし、各講義後にワークショップや事例研究、実技等を行うことで、子どもの行動に対する教員の関わり方について理解を深めました。

また、コロナ禍で見合わせている学外研修に代わり、若手教員の育成と保育の質の向上をめざして、ベテラン教員の保育を年間 10 回程度参観し、互いの指導力を高めました。

② 読書活動の充実

A．おはなし広場

園長による読み聞かせ「おはなし広場」を 17 年継続して行っています。年間開催回数は 83 回、題材とした絵本 83 冊、紙芝居 77 冊で、密を避けるためにクラスごとに実施するなど工夫し、機会確保に努めました。題材は毎月の保育だよりでの紹介にも努めました。また、各学年とも、クラスでの日々の読み聞かせや月間絵本の活用にも力を入れています。

B．絵本の貸し出し

本園の読書活動については保護者の方にも浸透し、家庭での絵本の読み聞かせにも協力的です。借りた絵本の題名や作者、子どもの感想などを毎回記録する「絵本カード」は、園・保護者とのコミュニケーションツールとしても活用しています。

C．図書管理のシステム化

中学高等学校の図書館で使用している蔵書システム「情報館」に幼稚園の絵本を登録し、図書管理をシステム化しました。これにより絵本の検索性が高まり、タイムリーな読み聞かせや絵本紹介ができるようになりました。

③ 自然体験

安佐南区にある学園の農園等を活用し、四季折々の作物の苗植えや収穫の体験をしています。収穫したもち米での餅つきや、焼き芋パーティーを実施しました。これらの活動を通して食への関心を深め、自然の恵みや管理してくださる方々への感謝の気持ちを育んでいます。

また、今年度もフラワーフェスティバルに飾る花を育てる「ピースフラワープロジェクト花育」に参加し、2月からパンジーの花の苗を育てました。

④　英語教育の充実

今年度、英語に親しめる幼稚園をめざして、英語教育に力を入れました。小学校から毎日ネイティブの英語教諭を招いて、絵本を読んでもらったり遊んでもらったりしました。4・5 歳児は週に1回、ECC の成果レッスンを受けることで英語力が向上しました。また、3 歳児も週に1回、ネイティブの英語教諭による絵本の読み聞かせや、歌やダンスをとおして英語に親しむ機会があります。日常の保育の中でも、朝の会や帰りの会では、英語に触れる機会を多く持ちました。年長児の大半が年齢や名前・天気などは、英語で簡単に受け答えができるレベルになっています。年に3回、英語での挨拶週間も実施しました。

⑤　一貫校としての取り組み

Ａ．小学生との交流

今年度は、新型コロナウイルスの影響により小学生と園児の交流はリモートで行いました。年長児は 10 月 23 日に小学校 4 年生による「おはなし広場」（ZOOM 利用）に招かれ、手遊びとペープサート「たぬきなんてだいきらい」、パネルシアター「どうぞのいす」を見学しました。見学後、園児は手紙を書いてお礼の気持ちを伝えました。小学生との交流体験は、就学の期待につながり、相互に思いを寄せ合う意義ある体験になっています。

Ｂ．小学校長による教育講話

3 月 7 日、安田小学校校長を招いて教育講話を開催し、保護者約 50 名が参加しました。テーマは、小学校入学までに育てたいことを「聞く力」「主体性とチャレンジ」「人が好き・信頼」の 3 題で、やがて就学を迎える子どもたちが小学校以降伸びるために、幼少期に大切にしたいことを学ぶ貴重な機会となりました。

⑥　防犯・安全（避難訓練）

園では、非常時に備え全園児で訓練を重ねています。不審者想定を年 2 回、地震想定を年 3 回、火事想定を年 3 回実施しました。

⑦　子育て支援の充実

Ａ．預かり保育

預かり保育の利用は、いずれの時間帯とも大幅な増加傾向にあります（下表）。1 日平均で 70 名近い園児が利用しており、特に課外教室の参加が多い水曜日は、100 名近くとなる日もあります。共働き家庭にとっては、安心して預けることのできる場所として利用が進む一方で、新たに園児を収容する場所や担当教員の人員配置などが課題となっています。

＜時間帯別内訳＞　※人数は延べ数　※(　)は伸び率

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
早朝預かり	4,293 名（＋17%）	5,395 名（＋26%）	6,782 名（＋26%）
通常預かり	11,355 名（＋ 5%）	10,163 名（△10%）	14,855 名（＋46%）
延長預かり（17-18 時）	2,969 名（＋32%）	4,068 名（＋37%）	5,612 名（＋38%）
延長預かり（18-19 時）	797 名（＋ 6%）	1,428 名（＋79%）	2,051 名（＋44%）
長期休業日の預かり	1,595 名（＋16%）	1,775 名（＋11%）	2,630 名（＋48%）

B．課外教室

今年度も英語・音楽・体育・バレエ・硬筆・サッカーの6つの課外教室を行いました。通常保育後、慣れた場所で好きな課外教室が選べ、共働きの家庭の園児も参加できることから、複数の課外教室を利用する園児が増えています。

C．親子登園・園開放・園庭開放

今年度も親子登園、園開放、園庭開放を実施し、未就園児親子に遊びの場を提供し、地域の子育て支援センターとしての役割を担いました。年間の実施状況は下記の通りです。

行事名	対象	実施回数	参加状況　＊（　）は前年度
親子登園	2歳児	20回	11グループ延べ195組の親子（33回で180組）
休園日の園開放	2歳児	2回	延べ95組の親子（2回で98組）
開園日の園開放	1歳児～	随時	20組40名（昨年は中止）
園庭開放	1歳児～	2回	50組の親子（7回、143組）

⑧　施設・設備

A．ＩＣＴ環境の整備

教師用にタブレットを10台購入しました。1階保育室のインターネット環境を整備し、タブレットと電子黒板を接続して映像や音楽を流すことができるようになりました。

B．園庭

園庭の築山部分を人工芝に張り替えました。これにより、築山で芝滑りができるようになり、子どもの遊びがよりダイナミックなものになりました。

（５）安田幼稚園安東園舎

①　保育・研究活動

A．重点目標「意欲的に環境に関わり、頭と体を存分に使って遊ぶ子どもの育成～3年間の育ちの見通しをもった活動や遊びの提供・充実を考える～」への取り組み

a．3つの柱からの重点項目策定

教育の柱「自分が好き」「友達が好き」「自然が好き」の3つの柱から、各学年でめざす子ども像や具体的に取り組む事項を1項目ずつ定め、各種の取組において重点を置きました。3項目とも、3学年をとおして段階的に達成できるもの、経験の積み重ねが目標の姿へつながるものであること等を踏まえ、今年度は以下のとおりに決めました。

「自分が好き」…「片付け」について

「友達が好き」…「思いを伝える」について

「自然が好き」…「戸外で体を動かして遊ぶ」について

b．「自分が好き」での取り組み

「片付け」については、片付けの必要性に気づいたり物の扱い方について考えたりできるよう、教師自身が手本となることを意識して取り組みました。片付けの時間には教師が一緒に片付け、写真やイラストを掲示することで、子どもが自分で気づいて片付けや整理整頓ができるよう促しました。

その結果、進んで片付る様子や自分の持ち物を大切にする姿が見られました。自分のものだけでなくみんなで使う物に対しての意識付けができるように、もう少しクラス全体で振り返る機会を作ったり、片付けやすい環境づくりをするなどの課題を認識しました。

c．「友達が好き」での取り組み

「思いを伝える」については、集団生活を通して、関わりに必要な言葉を知り、自分の思いを言葉で伝えることができるように、学年に応じた取り組みを行いました。必要な言葉を教師が手本となって伝え、絵本などの教材を用いて知らせるなど、人前で自分の思いを伝える場を通年で設けました。その結果、伝え方には個人差こそありますが、自分なりの言葉で伝える姿が増え、友達と会話を楽しんだり聞いてもらう人を意識しながら話せるようになりました。

d．「自然が好き」での取り組み

「戸外で体を動かして遊ぶ」については、各学年で体を動かして遊ぶことの楽しさを感じられるよう、好きな遊びできっかけを作ったり、一斉活動で取り組んできました。前期は、年少組では先生と一緒に取り組むこと、年中・年長組では個人の運動遊びとともに友達とルールのある遊びが楽しめるように意識しました。後期は、戸外遊びや運動遊びに苦手意識がある子どもに対して個別に誘い掛けたり、チャレンジカードやがんばりメーターなどを取り入れたり、教師とルールのある遊びに参加することで一定の成果が見られました。しかし、個人差もあり一人ひとりに合わせて取り組める環境を作っていく必要性を感じました。

B．子ども理解と園内研修の充実

今年度も担任が、絵本や運動遊び、リトミックなど研究テーマを決めて研究保育や日々の保育、子ども理解について話し合いを重ねてきました。年度末には、全教員の研修を冊子にまとめました。

また、併設大学の学生の卒論研究と並行して、学生による子どもの行動観察やアンケートに協力しました。いろいろな見地からの観察とアドバイスをとおして子ども理解を深め、教師による援助のあり方を考え、日々の実践につなげています。

② 図書教育の推進

A．絵本の貸し出し

1週間に1回の絵本貸し出しを継続しています。読み聞かせの時間を作り、親子で1冊の絵本の楽しさを共有することが、毎日の家庭生活の中に根付いてきていることを感じています。園の蔵書を充実させ、家庭との連携を図る「絵本ノート」を活用しながら、今後も読書活動を推進していきます。

B．「お話しタイム」の継続

園長が各クラスを訪れて絵本の読み聞かせをする「お話しタイム」を継続し、子どもの情操を豊かにし、聞く態度とともに聞く力の形成につなげています。

③ 自然体験

本園は自然環境に恵まれており、年間をとおして田畑での収穫体験ができます。田植えをし、もち米を育て、収穫して餅つきを行い、食すという一連の体験は貴重です。野菜を植え育てるという活動も取り入れ、自分たちで育てた野菜の生長や食することの喜びを味わいました。また、探索道で自然物収集やロープのぼり・芝すべりを今年度も楽しみました。

今年度も、子どもたちが園で育てた花を広島フラワーフェスティバルの会場に飾る「ピースフラワープロジェクト」に参加しました。花を育てることから優しい気持ちや平和な世界への願いにつなげてほしいと思っています。

④　一貫校としての取り組み

A．大学生の卒論研究への協力・ボランティアの受け入れ

毎年、併設大学・短大の学生の卒論研究のための保護者アンケート、教員アンケート等への協力をしています。

B．大学の施設を利用した体験

毎年、年長組のお泊り保育の際に大学図書館で絵本を借りています。また、大学 9 号館にある天文台での「親子で星を見る会」を実施しました。

C．安田小学校長による子育て講演会の開催

3 月には安田小学校長に、「小学校入学までにしておきたいこと」と題した「教育講演会」を開いていただき、約 50 名の参加がありました。「聞く力」を育むために「言葉を理解して自分で考えて行動すること」の大切さ、家庭の中での「3 つの声」（話し声・笑う声・歌う声）の大切さ、さらに子育ての中での「期待と希望」にも言及され、就学を前にした保護者も子育てを振り返る貴重な時間となりました。

⑤　在園児子育て支援について　　　＊（　）は前年度

A．預かり保育の充実

保育時間前後の預かり保育として、早朝保育や延長保育を大学・短大の施設“Sophia”で継続しています。2021 年度の実施日が通常保育と長期休業中を合わせ 224 日（228 日）となり、延べ人数 8,051 名（7,529 名）と多くの利用者がありました。

＜時間帯別内訳＞　　※人数は年間延べ数　※(　)は一日平均

	2019 年度	2020 年度	2021 年度
早朝保育（7:45-）	2,110 名（ 9.3 名）	2,005名（ 7.6名）	1,968名（ 8.8名）
通常保育	6,773 名（29.7 名）	6,091名（26.7 名）	6,611名（ 35.5 名）
延長保育（17-19）	1,933 名（ 8.5 名）	1,077名（ 4.1 名）	1,284名（ 5.7名）
長期休業中	1,261 名（35.2 名）	1,438 名（36.8名）	1,440名（37.9名）

B．課外教室の充実

保育終了後の課外教室が 6 教室あり、課外教室の選択肢も増え、子どもたちの励みとなり、自信につながっています。

⑥　未就園児子育て支援について　　　＊（　）は前年度

2 歳児親子登園は今年度も、親子登園の実施日を 9 月まで延長し、入園を考えていただける機会となるようにしました。9 月に実施した新規親子登園では、1 回コースを 4 グループ行い、延べ 64 組（63 組）の参加がありました。課題であった親子登園参加者からの志願者数増につながりました。

オープンスペースは、予約制のもとキッズルームを開放しました。0 歳から 2 歳前までの乳幼児親子の参加者があり、子育て相談も行いました。

行事名	対象	実施回数	参加状況＊（　）は前年度
休日園開放「幼稚園であそぼう」	2 歳児	2日間	延べ117組（112組）
園開放	1 歳～就園前	4回	233組（127組）
園庭開放	0 歳～就園前	4回	延べ80組（109組）
親子登園	2 歳	21 回	159組（255組）
オープンスペース	0 歳～2 歳前	6回	延べ50組（ 47組）

⑦　インスタグラムの起用

本年度から、インスタグラム（Instagram）での園の情報発信を開始しました。フォロワー数も少しずつ増え、たくさんの方へ情報を発信するツールが増えました。

⑧　施設・設備

近年は園庭・外構中心の環境整備が主でしたが、本年度は新型コロナに対応して、保育室の園児用トイレ乾式化（ドライ化）、手洗い場の自動水洗化など、衛生面にすぐれた環境を整えました。

⑨　新しい制度導入による業務軽減

2020年度の後半より導入した「園務支援システム・バスキャッチ」の活用で、欠席・遅刻連絡、園バス利用、預かり保育等の管理業務において、教職員の業務が軽減されました。2021年4月から本格的に導入し、新型コロナ感染防止のため園児や教職員の体調管理報告も可能になり、ますます有効活用しています。

Ⅲ. 財務の概要

今年度の資金収支について、収入総額は、265億5,382万8千円、支出総額は280億6,288万6千円となり(収支とも繰越支払資金を除く)、前年比では、収入は資産売却収入の増加等により11億9,617万6千円増加し、支出は施設関係支出の増加等により、54億3,267万1千円増加した。

事業活動収支は、事業活動収入計が107億1,938万6千円、事業活動支出計が85億3,718万8千円となり、基本金組入前当年度収支差額が21億8,219万8千円の収入超過となり、基本金組入後の当年度収支差額は17億7,025万2千円となった。

貸借対照表の資産の部合計は、前期末より18億9,263万9千円増加し587億5,038万7千円となった。また基本金は、第1号・第2号・第4号の組入及び組戻により2億8,284万2千円増加し、545億8,934万1千円となった。

財務上の重要な指標である事業活動収支差額比率の実績は20.4%であった。同系統(薬学部他複数学部)の大学法人の全国平均値(日本私立学校振興・共済事業団の発行する「今日の私学財政」より)は近年7～8%程度の水準であり、それと比較すると、財務的に安定した経営状況であると評価できる。引き続き、教育研究環境の充実・向上に十分留意しつつ、強固な財務基盤を維持出来るよう努めて行く。

今年度の主な整備事業は次のとおりである。
- 安東キャンパス1号館前 日除け・アルミ庇設置工事(5,216万円)
- 安東キャンパスA棟熱源機器他更新工事(4,769万円)
- 安東キャンパス9409教室CAD教室化整備(2,462万円)
- 安東キャンパス安田幼稚園安東園舎 保育室・ホール園児用トイレ改修工事(2,068万円)
- 白島キャンパス再開発建設工事(小学校・講堂・渡り廊下)(26億3,987万円)
- 白島キャンパス中高校舎和室改修工事(3,436万円)
- 白島キャンパス安田幼稚園 園庭人工芝工事(1,787万円)

今年度の寄付金収入18,249,150円の内訳は次のとおりである。

法人より	1 件	200,000 円
個人より	458 件	18,049,150 円

1.資金収支計算書の推移

(単位:千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年度増減
学生生徒等納付金収入	7,822,069	7,845,544	8,088,653	8,009,300	8,253,155	243,855
手数料収入	106,326	94,846	99,057	93,279	90,273	△ 3,006
寄付金収入	26,505	29,944	20,604	16,747	18,249	1,502
補助金収入	1,552,069	1,498,121	1,422,040	1,463,107	1,376,624	△ 86,483
国庫補助金収入	865,077	837,028	779,721	814,260	749,210	△ 65,050
地方公共団体補助金収入	685,592	660,693	642,319	648,847	624,714	△ 24,133
学術研究振興資金収入	1,400	0	0	0	2,300	2,300
若手・女性研究者奨励金収入	0	400	0	0	400	400
資産売却収入	6,733,598	6,075,538	12,945,115	14,190,441	13,140,644	△ 1,049,797
付随事業・収益事業収入	94,947	87,211	88,551	52,369	115,812	63,443
受取利息・配当金収入	520,280	531,060	489,918	530,782	548,136	17,354
雑収入	177,741	263,115	241,454	212,532	265,357	52,825
借入金等収入	0	2,000,000	0	0	0	0
前受金収入	1,221,142	1,289,604	1,209,186	1,293,718	1,269,517	△ 24,201
その他の収入	3,264,821	1,209,224	1,088,394	955,517	3,044,023	2,088,506
資金収入調整勘定	△ 1,900,501	△ 1,364,453	△ 1,653,329	△ 1,460,140	△ 1,567,962	△ 107,822
小　計	19,618,997	19,559,754	24,039,643	25,357,652	26,553,828	1,196,176
前年度繰越支払資金	4,692,240	4,055,763	5,336,544	5,280,170	8,007,607	2,727,437
収入の部合計	24,311,237	23,615,517	29,376,187	30,637,822	34,561,435	3,923,613

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年度増減
人件費支出	4,545,329	4,675,722	4,731,179	4,807,897	5,062,535	254,638
教育研究経費支出	1,551,856	1,729,290	1,726,531	2,040,462	1,851,400	△ 189,062
管理経費支出	426,729	398,749	422,308	384,700	355,735	△ 28,965
借入金等利息支出	0	0	22,115	21,625	20,250	△ 1,375
借入金等返済支出	0	150,000	150,000	150,000	400,070	250,070
施設関係支出	5,915,903	2,241,022	2,648,613	464,796	2,943,130	2,478,334
設備関係支出	262,695	297,819	272,928	151,169	91,806	△ 59,363
資産運用支出	7,583,146	8,779,720	14,103,080	14,650,384	17,468,053	2,817,669
その他の支出	78,285	81,745	83,832	47,095	56,390	9,295
資金支出調整勘定	△ 108,469	△ 75,094	△ 64,569	△ 87,913	△ 186,483	△ 98,570
小　計	20,255,474	18,278,973	24,096,017	22,630,215	28,062,886	5,432,671
次年度繰越支払資金	4,055,763	5,336,544	5,280,170	8,007,607	6,498,549	△ 1,509,058
支出の部合計	24,311,237	23,615,517	29,376,187	30,637,822	34,561,435	3,923,613

2.事業活動収支計算書の推移

(単位:千円)

科目			2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	前年度増減
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	7,822,069	7,845,544	8,088,653	8,009,300	8,253,155	243,855
		手数料	106,327	94,846	99,057	93,279	90,273	△ 3,006
		寄付金	12,505	29,944	20,604	16,747	18,049	1,302
		補助金	1,198,021	1,265,402	1,177,481	1,300,108	1,231,542	△ 68,566
		国庫補助金	541,029	604,310	535,771	666,797	604,128	△ 62,669
		地方公共団体補助金	655,592	660,692	641,710	633,311	624,714	△ 8,597
		学術研究振興資金	1,400	0	0	0	2,300	2,300
		若手・女性研究者奨励金	0	400	0	0	400	400
		付随事業収入	94,947	87,211	88,551	52,369	115,812	63,443
		雑収入	178,364	265,242	288,495	255,520	279,270	23,750
		教育活動収入計	9,412,233	9,588,189	9,762,841	9,727,323	9,988,101	260,778
	事業活動支出の部	人件費	4,570,003	4,722,252	4,767,451	4,819,069	5,033,122	214,053
		教育研究経費	2,577,133	2,926,639	2,909,017	3,296,367	3,032,206	△ 264,161
		管理経費	464,551	446,550	471,318	427,886	395,256	△ 32,630
		徴収不能額等	52	0	66	14	0	△ 14
		教育活動支出計	7,611,739	8,095,441	8,147,852	8,543,336	8,460,584	△ 82,752
		教育活動収支差額	1,800,494	1,492,748	1,614,989	1,183,987	1,527,517	343,530
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	520,280	531,060	489,918	530,782	548,136	17,354
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	520,280	531,060	489,918	530,782	548,136	17,354
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	22,115	21,625	20,250	△ 1,375
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	22,115	21,625	20,250	△ 1,375
		教育活動外収支差額	520,280	531,060	467,803	509,157	527,886	18,729
		経常収支差額	2,320,774	2,023,808	2,082,792	1,693,144	2,055,403	362,259
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	70,849	15,162	13,146	99,677	35,032	△ 64,645
		その他の特別収入	371,297	238,338	250,120	167,583	148,117	△ 19,466
		特別収入計	442,146	253,500	263,266	267,260	183,149	△ 84,111
	事業活動支出の部	資産処分差額	55,961	223,055	1,170,968	135,082	56,354	△ 78,728
		その他の特別支出	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	55,961	223,055	1,170,968	135,082	56,354	△ 78,728
		特別収支差額	386,185	30,445	△ 907,702	132,178	126,794	△ 5,384
基本金組入前当年度収支差額			2,706,959	2,054,253	1,175,090	1,825,323	2,182,198	356,875
基本金組入額合計			△ 3,887,351	△ 1,689,622	△ 3,958,404	△ 182,973	△ 411,946	△ 228,973
当年度収支差額			△ 1,180,392	364,631	△ 2,783,314	1,642,349	1,770,252	127,903
前年度繰越収支差額			△ 3,156,638	△ 4,192,780	△ 3,702,426	△ 6,485,740	△ 4,223,877	2,261,863
基本金取崩額			144,250	125,723	0	619,513	129,104	△ 490,409
翌年度繰越収支差額			△ 4,192,780	△ 3,702,426	△ 6,485,740	△ 4,223,877	△ 2,324,521	1,899,356

(参考)							
	事業活動収入計	10,374,659	10,372,749	10,516,025	10,525,365	10,719,386	194,021
	事業活動支出計	7,667,700	8,318,496	9,340,935	8,700,042	8,537,188	△ 162,854

3.貸借対照表の推移

（単位:千円）

資産の部						前年度
科　　目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	増減
固定資産	43,927,797	46,098,655	49,390,517	48,567,763	48,028,505	△ 539,258
有形固定資産	32,675,207	33,779,726	35,475,453	34,734,906	36,517,553	1,782,647
土地	8,841,059	8,978,732	8,978,732	8,986,872	9,158,839	171,967
建物	16,423,194	19,707,977	21,625,656	20,756,404	20,021,322	△ 735,082
その他の有形固定資産	7,410,954	5,093,017	4,871,065	4,991,630	7,337,392	2,345,762
特定資産	11,218,746	12,291,032	13,892,857	13,795,845	11,475,971	△ 2,319,874
その他の固定資産	33,844	27,897	22,207	37,013	34,980	△ 2,033
流動資産	6,225,232	8,060,346	5,714,801	8,289,985	10,721,881	2,431,896
現金預金	4,055,763	5,336,544	5,280,170	8,007,608	6,498,550	△ 1,509,058
その他の流動資産	2,169,469	2,723,802	434,631	282,377	4,223,331	3,940,954
資産の部合計	50,153,029	54,159,001	55,105,318	56,857,748	58,750,387	1,892,639
負債の部						
固定負債	3,571,848	5,466,298	5,305,528	4,873,730	4,430,414	△ 443,316
長期借入金	2,550,000	4,400,000	4,250,000	3,849,930	3,449,940	△ 399,990
退職給与引当金	1,021,848	1,066,298	1,055,528	1,023,800	980,474	△ 43,326
流動負債	1,553,224	1,610,494	1,542,491	1,901,396	2,055,153	153,757
短期借入金	150,000	150,000	150,000	400,070	399,990	△ 80
前受金	1,221,142	1,289,605	1,209,186	1,293,718	1,269,517	△ 24,201
その他の流動負債	182,082	170,889	183,305	207,608	385,646	178,038
負債の部合計	5,125,072	7,076,792	6,848,019	6,775,126	6,485,567	△ 289,559
純資産の部						
基本金の部						
第1号基本金	45,833,389	46,584,316	49,395,039	49,268,460	52,143,090	2,874,630
第2号基本金	2,861,348	3,670,319	4,800,000	4,478,039	1,854,251	△ 2,623,788
第4号基本金	526,000	530,000	548,000	560,000	592,000	32,000
基本金の部合計	49,220,737	50,784,635	54,743,039	54,306,499	54,589,341	282,842
繰越収支差額の部						
翌年度繰越収支差額	△ 4,192,780	△ 3,702,426	△ 6,485,740	△ 4,223,877	△ 2,324,521	1,899,356
純資産の部合計	45,027,957	47,082,209	48,257,299	50,082,622	52,264,820	2,182,198
負債及び純資産の部合計	50,153,029	54,159,001	55,105,318	56,857,748	58,750,387	1,892,639

4. 貸借対照表関係比率の推移

	財務比率	算式(×100%)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	純資産構成比率	純資産 / 総負債＋純資産	89.8%	86.9%	87.6%	88.1%	89.0%
2	基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	98.1%	96.7%	97.1%	97.4%	98.1%
3	固定長期適合率	固定資産 / 純資産＋固定負債	90.4%	87.7%	92.2%	88.4%	84.7%
4	流動資産構成比率	流動資産 / 総負債＋純資産	12.4%	14.9%	10.4%	14.6%	18.2%
5	流動比率	流動資産 / 流動負債	400.8%	500.5%	370.5%	436.0%	521.7%
6	前受金保有率	現金預金 / 前受金	332.1%	413.8%	436.7%	619.0%	511.9%
7	負債比率	総負債 / 純資産	11.4%	15.0%	14.2%	13.5%	12.4%

5. 事業活動収支計算書関係比率の推移

	財務比率	算式(×100%)	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	26.1%	19.8%	11.2%	17.3%	20.4%
2	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	78.8%	77.5%	78.9%	78.1%	78.3%
3	補助金比率	補助金 / 事業活動収入	15.0%	14.4%	13.5%	13.9%	11.5%
4	人件費比率	人件費 / 経常収入	46.0%	46.7%	46.5%	47.0%	47.8%
5	教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	25.9%	28.9%	28.4%	32.1%	28.8%
6	基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	37.5%	16.3%	37.6%	1.7%	3.8%
7	人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	58.4%	60.2%	58.9%	60.2%	61.0%

6. 在学生数・教職員数の推移

区　分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
在学生数　(単位:名)					
大学院	36	39	33	26	23
大学	4,753	4,944	5,037	5,062	5,139
短期大学	294	260	262	294	299
高等学校	780	785	763	729	714
中学校	570	577	572	554	510
小学校	485	487	490	495	494
幼稚園	197	197	210	208	210
幼稚園安東園舎	211	205	206	210	207
計	7,326	7,494	7,573	7,578	7,596
教職員数　(単位:名)					
大学	606	624	616	596	602
短期大学	36	36	38	29	32
高等学校	74	73	74	79	86
中学校	50	54	58	57	57
小学校	45	45	43	46	50
幼稚園	24	25	29	26	31
幼稚園安東園舎	26	25	26	30	27
その他	5	6	4	4	3
計	866	888	888	867	888

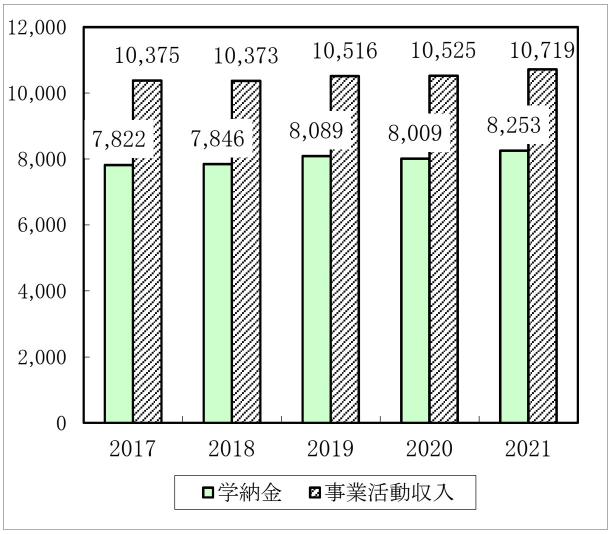
財　務　の　概　要

（５年間の財務　経年比較表）

（単位：百万円）

項　　　目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
①学生生徒等納付金	7,822	7,846	8,089	8,009	8,253
②事業活動収入	10,375	10,373	10,516	10,525	10,719
③経常収入	9,933	10,119	10,253	10,258	10,536
④基本金組入額	△ 3,887	△ 1,690	△ 3,958	△ 183	△ 412
⑤事業活動支出	7,668	8,318	9,341	8,700	8,537
⑥教育研究経費	2,577	2,927	2,909	3,296	3,032
⑦有形固定資産	32,675	33,780	35,475	34,735	36,518
⑧総　資　産	50,153	54,159	55,105	56,858	58,750

学生生徒等納付金及び事業活動収入の推移

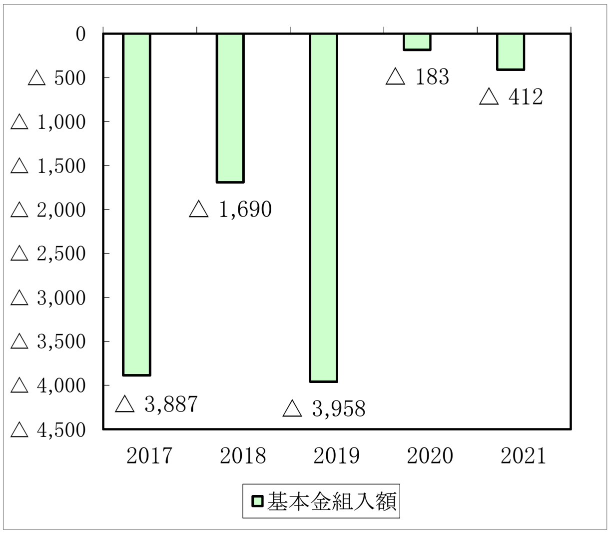


（%）

項　　　目	2017	2018	2019	2020	2021
学生生徒等納付金比率	78.7	77.5	78.9	78.1	78.3

（学生生徒等納付金÷経常収入）

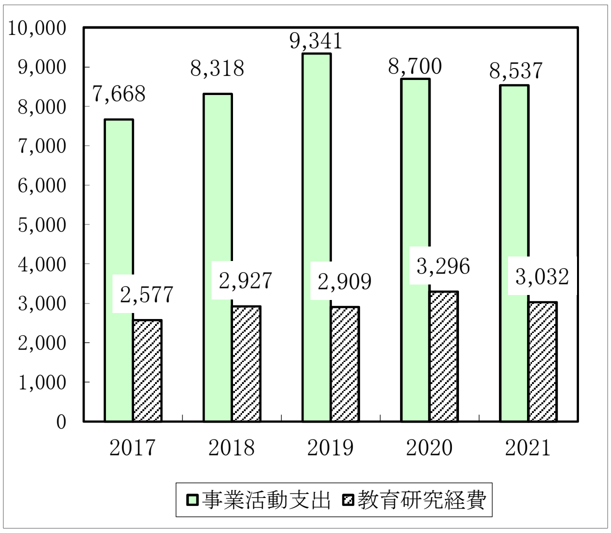
基本金組入額の推移



（%）

項　　　目	2017	2018	2019	2020	2021
基本金組入率	37.5	16.3	37.6	1.7	3.8

事業活動支出及び教育研究経費の推移

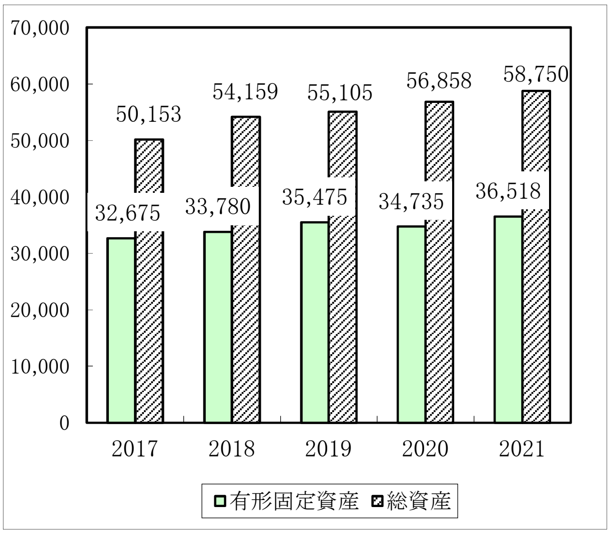


（%）

項　　　目	2017	2018	2019	2020	2021
事業活動支出比率	73.9	80.2	88.8	82.7	79.6
教育研究経費比率	25.9	28.9	28.4	32.1	28.8

（教育研究経費÷経常収入）

総資産及び有形固定資産の推移



（%）

項　　　目	2017	2018	2019	2020	2021
有形固定資産構成比率	65.2	62.4	64.4	61.1	62.2